



自らまなび 心豊かに
たくましく生きる
江北の子を育てます

江北小学校だより

～誰もが幸せを感じる学校をめざして～ 校長だより第3号

令和3年6月1日（火） 江北小学校 校長 篠原 一彦

令和3年度のPTA活動が始まりました！

5月26日（水）、PTA新旧実行委員会が開催され、昨年度と今年度のPTA執行部、各専門部、各学年の委員さんによる業務の引き継ぎが行われました。



旧実行委員会の皆様には昨年度、コロナ禍の中で子ども達や学校のために様々な活動に工夫して取り組んでいただきました。また今年度のPTA委員さんの選出のために、大変ご尽力いただき、本当に感謝しています。心よりお礼申し上げます。

今年度の委員様には、今なおコロナ禍の影響が続く中で子ども達の健康・安全の保持と教育活動の充実に向けて、ご協力をいただくこととなりますが、新役員の皆さんからは笑顔で前向きな様子が見え、学校としてもとても有難く、期待を新たにしましたところ。皆様には今年1年間、大変お世話になります。何卒よろしくお願い申し上げます。

やぶさめ 流鏑馬を描いた絵本を寄贈いただきました

江北小では子ども達が総合的な学習の時間に、江北町の伝統文化を調べたり体験したりして、ふるさと・江北の良さを知り、誇りをもつ学習をしています。

その中で久しく途絶えていた「天子社の流鏑馬神事」を144年ぶりに復活させた永松良太さんに直接話を聞いたり、実際に馬に乗せてもらったりする体験をさせていただく機会があり、子ども達も大変興味をもちました。

その永松さんが、この流鏑馬にまつわる話を、「馳け巡る（かけめぐる）～ぼくのまちのやぶさめ～」という絵本にして出版されたことを記念して、母校である江北小の図書館に絵本を寄贈していただきました。さらには6年生の子ども達全員に1冊ずつ贈呈していただくこととなりました。本当に有難いことです。

流鏑馬と絵本を通じて永松さんが子ども達に託した気持ちを受けとって、故郷・江北への愛情と誇りをもって成長してくれることを大いに期待しています。



大雨等を想定した引渡し訓練を実施します

5月20日（木）は午後大雨が予想されたため、午後3時をもって全校一斉下校（教職員が引率、放課後児童クラブは学童の教室へ移動）とし、迎えに来られた保護者様には、お子さんの教室まで迎えに来ていただきました。



おかげ様で午後4時までには、ほぼ全ての児童が無事に下校できました。ちなみに当日は車で帰った児童が約5割、歩いて帰った児童が約3割、学童に移動した児童が約2割という割合でした。

ただしこの日は中学校も保護者引き渡しを実施されたため、兄弟姉妹の引き渡しに時間がかかったり、周辺の道路が渋滞し、近隣住民の方にご迷惑をおかけしたりするという課題も出ました。

実は小学校ではこうした風水害や犯罪発生時に、安全で効率的な引き渡しを行うため「地区別に児童を集めて兄弟姉妹を保護者様に一度に引き渡す」という方法を取りたいと考え、計画しておりました。また少しでもスムーズに車が出入りできるように、小中学校で車の動線を分けさせていただくことなども計画しております。

つきましては6月16日（水）の午後に、この地区別の児童引き渡し訓練を実施させていただく予定です。詳しくは別途お知らせいたします。保護者様をはじめご家族の皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

江北小をオリンピックの聖火が巡りました

このたび東京オリンピックの聖火リレーのランナーを務められた本校保護者の柿塚様より「子ども達にもぜひ聖火のトーチに触れてオリンピックの雰囲気を感じてほしい」との申し出をいただき、実際に使われた聖火トーチをお貸しいただきました。



トーチは1年生から6年生の各教室を「リレー」し、子ども達は担任の先生からオリンピックや聖火の話を聞いた後、実際に触らせていただいて、本物の素晴らしさを実感していました。大変貴重な経験をさせていただいた柿塚様に、心より感謝申し上げます。

もう一つの「江北小とオリンピック」の話

江北小の正面玄関前の庭園の一角に、バレーボールをしている二人の子ども像があることをご存じの方も多いと思います。

昨年度まで本校の用務員をされていた本校OBの坂井さんによれば、この像は前回の東京オリンピックを記念して当時の江北小の子ども達がつったもので、土台にはオリンピックの象徴である五つの輪も彫られています。

前回の東京オリンピックは1964（昭和39）年に開催されましたので、この像は製作以来50数年に渡って、江北小の子ども達を見守って来てくれたことになります。

今日も運動場から、子ども達の明るく元気な声が響いてきます。これからも江北小の子ども達の健康・元気の象徴として、末永く見守ってくれることでしょう。



校庭の「シンボルツリー」

下の写真は今から60年ほど昔の江北小の校舎を上空から撮影した航空写真です。

昭和30年代の江北小は全校児童が3千人を超えたこともあるマンモス校で、東西100m近い校舎が学年ごとに6棟並んでいました。空から見ると実に壮観な眺めです。

写真をよく見ると運動場の北西の端（○の所）に木があります。何とその木は今も運動場の西側のサッカーゴール付近にある木だとのこと。木の位置からすると今の運動場は当時の校舎の3棟分ほど広がっていることがわかります。

この木は今ではずいぶん老朽化が進んでおり、根元の部分はコンクリートで補強されて幹を支えています。今なお青々とした葉をたたえています。この木もまた、永く子ども達を見守ってくれている江北小のシンボルツリーです。



「おいしかった！」～お弁当の日～

5月31日（月）の昼食は、お家の方手作りのお弁当をいただきました。

登校してくる子ども達はそれぞれに大事そうにランチバッグを持ってきました。「今日のお弁当は何？」と私が尋ねますと「卵焼き!」「ハンバーグ!」「唐揚げ!」など笑顔で元気な答えが返ってきました。

給食はみんなで同じメニューを食べますが、お弁当は子ども達の好きなメニューが中心なのでどの子どももお昼になるのが待ち遠しかったようで、笑顔でお弁当箱のふたを開けていました。高学年になると、卵焼きやおにぎりなどを自分で作った子もいたようです。「お弁当の日」は今後月1～2回実施されますが、円滑な給食の実施と子ども達の食育のため保護者の皆様にはお弁当の準備へのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



子ども達の健康と安全のために

江北小には昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防のために校舎の消毒や衛生関係の業務をしていただく「スクール・サポート・スタッフ（SSS）」の方に毎日入っていただいています。今年のSSSは、井上勝則さん、武富次生さん、田中純子さんの3名の方々です。教室のドアや階段の手すり、給食の配膳台、手洗い場やトイレの蛇口などを毎日丁寧に消毒していただいています。作業のおり、子ども達に笑顔で声もかけていただいております。子ども達の心身の健康と安全のために尽力してくださっており、とても有難く思っています。

6月の行事予定

- 1（火）歯科検診（1・2年生）
- 2（水）ノーテレビ・ゲーム・スマホデー
全校朝会、全校5時間授業
- 10（木）クラブ活動
- 16（水）災害時を想定した児童引き渡し訓練
歯科検診（5・6年生）
- 18（金）5年生「代かき」
- 22（火）校内研修
（全校5時間授業で14：50に下校）
- 24（木）クラブ活動
- 25（金）朝の読み聞かせ
5年生「田植え」



